

製品名: レニンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86339**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,FC 1:10-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:45 kDa; Observed MW:45 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------|
| 遺伝子名 | Renin |
| 別名 | HNFJ2 |
| 遺伝子ID | 5972 |
| SwissProt ID | P00797 |
| 免疫原 | ヒトレニンの合成ペプチド |

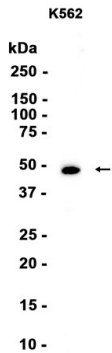
背景

この遺伝子は、腎臓から分泌されるアスパラギン酸プロテアーゼであるレニンをコードします。レニンは、血圧と電解質バランスの

調節に関与するレニン-アンジオテンシン-アルドステロン系の一部です。この酵素は、アンジオテンシノーゲンを分解してアンジオテンシン I を生成することで、アンジオテンシン I の活性化経路の第一段階を触媒します。アンジオテンシン I は、アンジオテンシン I 変換酵素によってアンジオテンシン II に変換されます。このカスケードは、アルドステロンの放出、血管の狭窄、そしてアンジオテンシン II が血管収縮ペプチドであるため、血圧の上昇を引き起こします。異なるタンパク質アイソフォームをコードし、選択的スプライシングや代替プロモーターの使用によって生じる転写バリエーションが報告されていますが、それらの全長は未だ解明されていません。この遺伝子の変異は、家族性若年性高尿酸血症性腎症 2、家族性高プロレニン血症、および腎尿細管形成不全症を引き起こすことが示されています。[RefSeq 提供、2020 年 5 月]

研究分野

画像データ



レニンウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。